

8. 令和2年度開通路線について

8.1 令和2年度開通路線の状況報告「四国横断自動車道 津田IC～徳島東IC」

○四国横断自動車道（阿南～徳島東）は四国8の字ネットワークの一部を形成し、既に供用済みの四国縦貫自動車道や四国横断自動車道と連携し、四国東南部における広域交通ネットワークの形成、災害時の代替道路としての役割を担い、地域に安心と活力をもたらすものと期待されています。

○令和2年度に、四国横断自動車道 津田IC（仮称）～徳島東IC（仮称）（L=2.8km）を開通予定です。

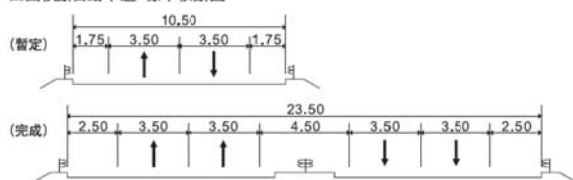
○当該区間の開通により、徳島東環状線を経由し津田地区臨海部、沖洲地区臨海部に発着する交通が四国横断自動車道に転換し、交通の分散が期待できます。

■ 四国横断自動車道(津田IC～徳島東IC)の開通区間の概要



国土地理院・基盤地図情報を基に作成

四国横断自動車道 標準横断面



■ 開通に伴い想定される交通流の変化

津田地区臨海部への交通



国土地理院・基盤地図情報を基に作成

沖洲地区臨海部への交通



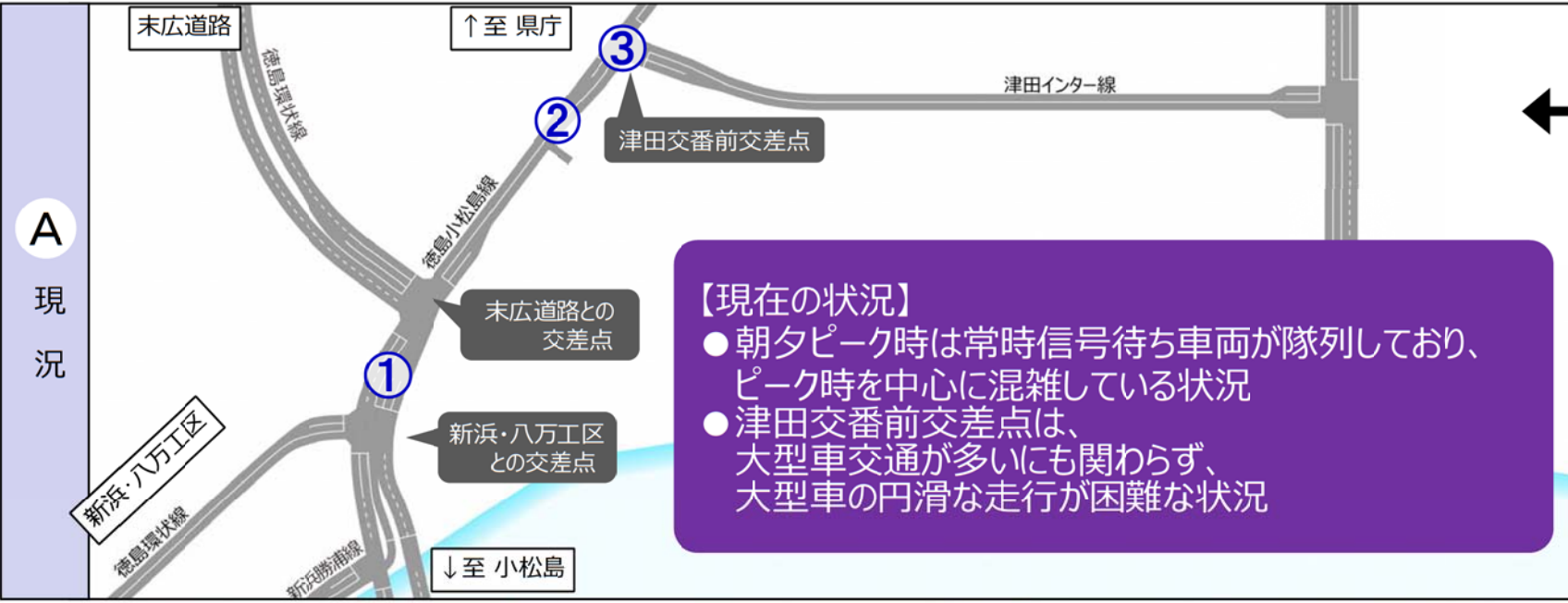
国土地理院・基盤地図情報を基に作成

凡例
 ← 四国横断自動車道開通前の経路
 → 四国横断自動車道開通後の経路
 ● 主要渋滞箇所

8.2 四国横断自動車道の暫定供用対策について (1) 課題の把握

- 令和2年度には津田IC～徳島東IC、令和3年度には徳島東IC～徳島JCTが供用予定
- 津田IC(仮称)を利用する交通流が主要渋滞箇所指定されている新浜本町付近に流入することから、当該地の渋滞が懸念

A
現況



写真① (混雑状況)



写真② (混雑状況)



写真③ (大型車交通状況)



徳島小松島線の当該区間は、朝夕のピーク時は常時信号待ち車両が隊列している状態

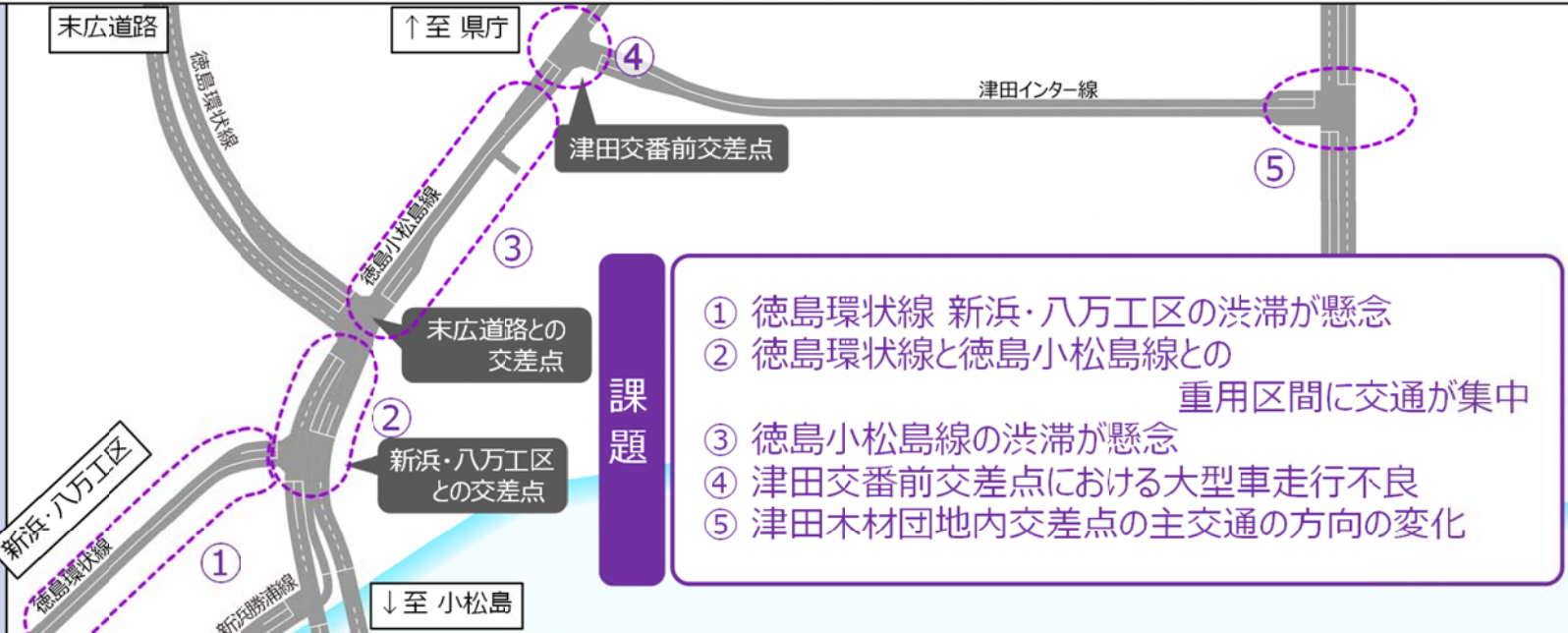
徳島小松島線の当該区間は、朝夕のピーク時は常時信号待ち車両が隊列している状態

大型車が当該交差点を、津田インター線から徳島小松島線へ左折する際、『大回り』となり円滑な走行が困難な状況

8.2 四国横断自動車道の暫定供用対策について (2) 渋滞対策の検討

- 津田IC(仮称)端末供用による周辺道路の交通量増加に伴う渋滞の緩和を図るため、①～⑤の対策を計画・実施中
- ①～⑤の対策を実施することで、津田IC(仮称)端末供用時に考えられる渋滞が緩和されると想定

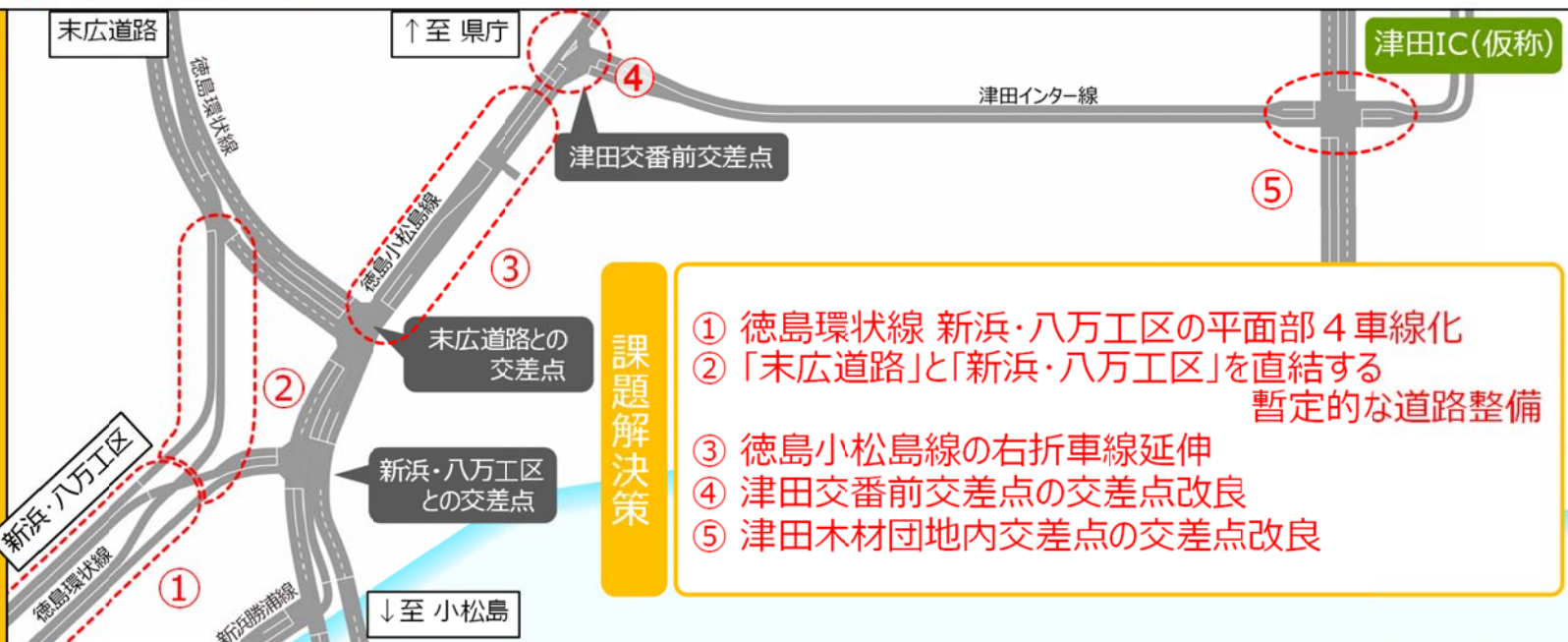
A 現況



課題

- ① 徳島環状線 新浜・八万工区の渋滞が懸念
- ② 徳島環状線と徳島小松島線との重用区間に交通が集中
- ③ 徳島小松島線の渋滞が懸念
- ④ 津田交番前交差点における大型車走行不良
- ⑤ 津田木材団地内交差点の主交通の方向の変化

B 津田IC(仮称)徳島JCT供用(対策実施後)



課題解決策

- ① 徳島環状線 新浜・八万工区の平面部4車線化
- ② 「末広道路」と「新浜・八万工区」を直結する暫定的な道路整備
- ③ 徳島小松島線の右折車線延伸
- ④ 津田交番前交差点の交差点改良
- ⑤ 津田木材団地内交差点の交差点改良

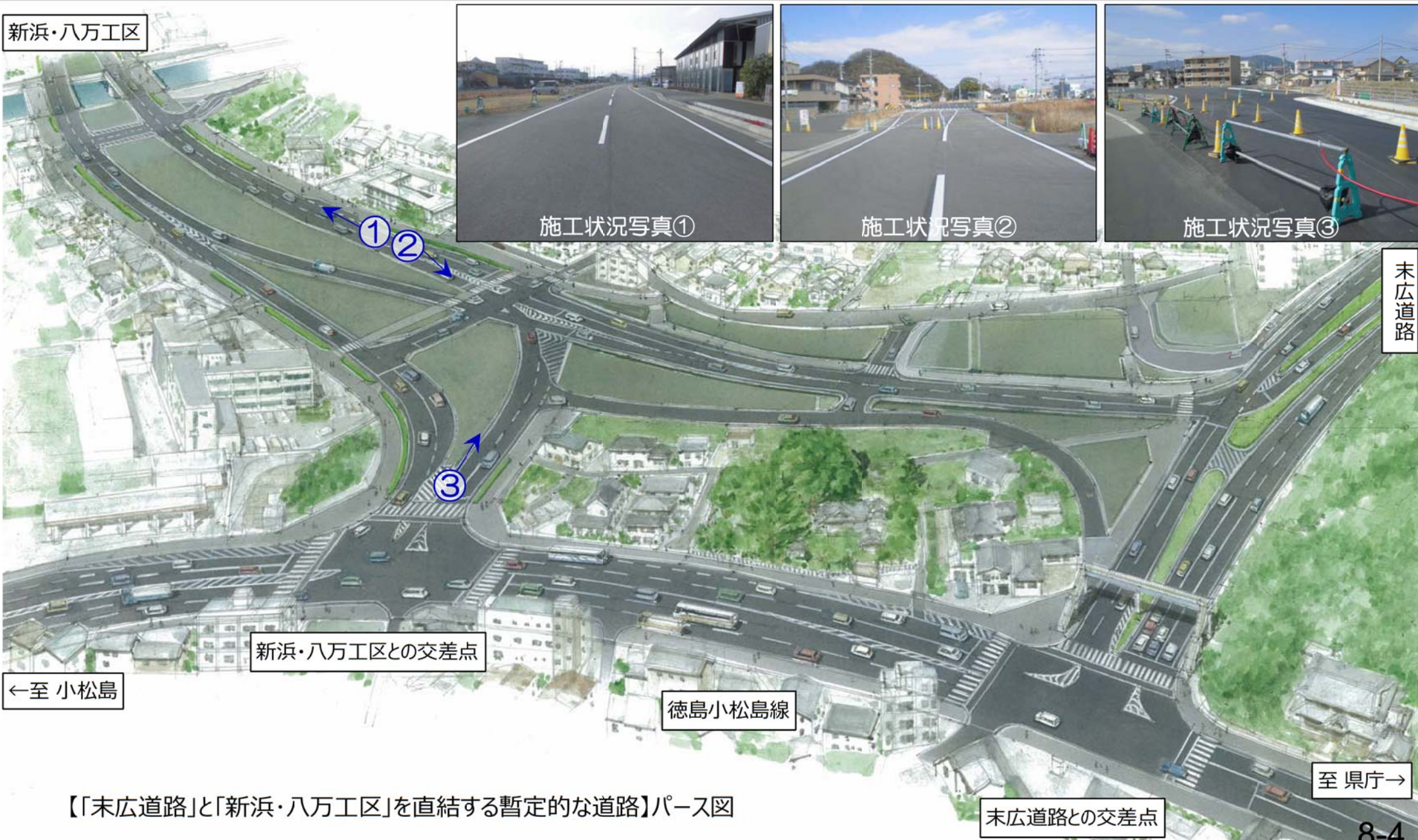
対策実施による効果

- ① 徳島環状線 新浜八万工区
平面部4車線化により、複数車線が確保され、円滑な交通流の確保が期待
- ② 「末広道路」と「新浜・八万工区」を直結する暫定的な道路整備
重用区間を経由せず環状交通が可能となることで、当該区間の交通量が減少、ボトルネック効果の緩和が期待
- ③ 徳島小松島線の右折車線延伸
右折車両が直進車両を阻害することが少なくなるため、円滑な交通流の確保が期待
- ④ 津田交番前交差点改良
大型車交通の危険な走行が減少し、安全性が確保されるとともに、円滑な交通流の確保が期待
- ⑤ 津田木材団地内交差点改良
一時的に四国横断自動車道の端末となる津田IC入り口の交差点を整備することで、高速ネットワークへの円滑なアクセスが可能

8.2 四国横断自動車道の暫定供用対策について (3) 整備状況・供用後の予定

- 暫定供用に必要な用地買収が完了したことから、現在、R2年度末の供用に向け鋭意施工中
- 供用後においては、道路状況のモニタリングを実施するとともに、関係機関等の意見を収集し、必要に応じた更なる対策を検討・実施

新浜・八万工区



【「未広道路」と「新浜・八万工区」を直結する暫定的な道路】パース図

未広道路との交差点